



薬量選択性除草剤

アージラン[®]液剤

アシュラム……37.0%

®：登録商標

特長

- メヒシバ、タデなどの一年生雑草の発生前から生育初期まで、優れた除草効果を示します。
- セイタカアワダチソウ、チガヤ、スギナなどの強害草の生育期に使用して、それらを選択的に除草することができます。
- 哺乳類、鳥類、魚類、昆虫類、微生物などへの影響が少ない除草剤です。
- 分解が早く、土壌中での残留性はほとんどありません。

■主な有効雑草



メヒシバ



タデ



ヒメムカシヨモギ



セイタカアワダチソウ



チガヤ



スギナ



■野菜・非農耕地の適用雑草と使用方法

(2003年7月現在の登録内容)

作物名 適用場所	適用雑草名	使用時期	10アール当たり使用量		使用方法	使用回数*
			薬量	希釈水量		
ほうれんそう すいか (トンネル・ マルチ移植) 露地メロン (トンネル・ マルチ移植)	畑地 一年生 雑草	播種後～ 子葉展開期	秋播き 600～800ml	100～ 200 l	散布 (土壌処理)	1回
			春～初夏播き 800～1,000ml ただし芽出し播き は800ml			
		定植・ マルチ前	800～1,200ml			
公園、庭園、堤 とう、駐車場、 道路、運動場、 宅地、のり面等	一年生雑草	雑草生育期	1,000～ 2,000ml	100～ 200 l	散布 (茎葉処理)	3回 以内
	多年生 広葉雑草		2,000～ 3,000ml			
	多年生 イネ科雑草		3,000～ 5,000ml			
	クズ		5,000ml			

*:本剤およびアシュラムを含む農薬の総使用回数

⚠ 薬効・薬害などの注意

- 所定量の薬剤に所定量の水を加え、よくかきまぜ溶液にして散布してください。
- 本剤は遅効性で、効果の現われるまでにかなりの時間を要し、散布時期が遅れると効果が劣るので、時期を失わないように散布してください。(効果)
- 雑草の発生程度により許容薬量内で使用量を増減してください。(効果)
- 局所散布・群生地散布の場合は必要に応じて展着剤を加用し、雑草の茎葉部をねらってよく付着するよう散布してください。(効果)
- 本剤の砂土での土壌処理は発芽前雑草に対して残効性が劣るので使用はさけてください。(効果)
- 通常の使用量ではアカザ科・ヒユ科・カヤツリグサ科の雑草及びザクロソウ、ツユクサ、ギョウギンバには効果が劣るので、これらの雑草の優占圃場での使用はさけてください。(効果)
- ほうれんそう、すいか、メロンに使用する場合は、決められた使用時期内で、雑草の発生前～発生始期に使用してください。(効果・薬害)
- 公園、庭園等に使用する場合、特に以下のことに注意してください。
 - 石を汚染することがあるので、霊園、墓地等では使用しないでください。
 - 飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることのないよう十分に注意して散布してください。
 - 水源地に飛散・流入しないよう十分注意してください。
 - 激しい降雨の予想される場合は使用をさけてください。

- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 散布の際は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣を着用し、散布液を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 誤飲に注意してください。
- 公園、堤とう等で使用する場合には、小児や散布に関係ない者が作業現場に近づかないように配慮するとともに、居住者、通行人、家畜などに被害を及ぼさないように注意を払ってください。また散布後、少なくともその当日は散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。散布器具、容器の洗浄水は、河川などに流さず、空容器などは環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

⚠ 保管上の注意

- 直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して責任者を決めて保管してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都港区高輪4-10-8 〒108-8572
www.bayercropscience.co.jp